

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第19回〕会議録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第19回〕

2. 開催日時 令和3年12月21日（火） 19時00分から20時10分まで

3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室

4. 出席者氏名

【松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員】※敬称略

小沼哲夫、宮嶋英雄、西元重人、原田貞男、矢澤登、北林昇、唐澤功、下澤洋貞、
米山俊孝、川瀬八十治、黒澤哲郎、寺沢秀文、熊岡正志、小澤文人、矢澤良一、
宮下彰、北林誠、松浦善文、松下正博、田中真喜子

【JR 東海】

中央新幹線長野工事事務所 平永所長、太田垣課長、工藤主席

〃 大鹿分室長 水上室長

【役 場】

宮下町長、岡田副町長、小沢課長、片桐課長補佐、村松主任

佐々木課長、米山課長、田中課長、原課長、池上課長、加山課長、下井課長、
福島課長、塩倉局長

5. 議題

(1) 発生土運搬に伴う安全対策について

(2) JR東海からの説明

- ・伊那山地トンネル（坂島工区）の肌落ち災害について
- ・大鹿村内リニア工事進捗状況について
- ・発生土運搬車両の運行状況について
- ・環境測定について

(3) 福与河原圃場整備について

6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7. 傍聴人の数

9人

8. 会議資料の名称

- ・会議次第、資料（町作成）
- ・別冊資料（JR 東海作成）

9. 会議の概要

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 会議事項
上記のとおり
- (4) その他
- (5) 閉会

10. 会議録

(唐澤副委員長)

こんばんは。年末のお忙しいところ、またお寒い中、委員会に出席いただきましてありがとうございます。それではただいまから松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会を開会いたします。

(小沢課長)

続きまして2番のあいさつです。黒澤委員長お願いいたします。

(黒澤委員長)

こんばんは。今、副委員長の唐澤さんからもお話がありましたが、本当に2021年、今年も終わりが近づいているところであります。そんな忙しい中、皆さんお集まりいただきまして本当にありがとうございます。それから、本日、第19回目のリニア中央新幹線建設工事対策委員会ということでございますけれども、今年に入ってから、7回目ということで、多くの会議にご出席をいただきまして感謝を申し上げるところであります。本当にご苦労様でございます。ありがとうございました。本日は、発生土の運搬も始まりまして、状況、経過それから対策工事等の進捗状況など、報告があるかと思えます。それからまた、皆さんご存じかと思えますけれども、新宮ヶ瀬橋が通行できるようになりました。またそんな橋の活用についても、希望を持てるところであります。そんな中での本日の会議でありますけれども、また忌憚のないご意見をいただければありがたいかなと思っているところであります。どうかよろしく願いをいたします。

(小沢課長)

続きまして宮下町長お願いいたします。

(宮下町長)

改めまして、皆様こんばんは。本日は、松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会の開催に当たりまして年末のお忙しい中、本当にありがとうございます。また特に本日もご出席の皆様におかれましては、日ごろより松川町政に対しましてお力添えいただいておりますことこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。先ほど委員長からもございましたが、一昨日行われました宮ヶ瀬橋の開通式におきましては、大変多くの皆様にお寒い中ご出席をいただきまして、盛大に執り行うことができました。この日のためにご尽力いただいた皆様、本当に重ねて感謝を申し上げます。

さて、この会議でも昨年よりお話をいただいてきました、伊那市への発生土運搬が本年10月25

日から開始をいたしました。ここに至るまでに本当に多くの皆様にご心配をいただき、一緒になって考えていただき一歩進むことができました。本当にありがとうございました。運搬が始まってからは、まだ台数が限られているということもあり、大きな苦情はいただいておりません。また、先日松川町の区長自治会長会でも発生土運搬のダンプはマナーが良いといったお話もいただいております。

ただ、師走になりまして、年々、これから車両が増えてくる時期となります。慌ただしく運転される方もいらっしゃるしますのでより注意が必要と感じております。

関係者の皆様もぜひ交通安全に留意をしていただきますよう改めてお願いを申し上げます。

また松川町といたしましても、今回の発生土運搬の開始を機に交通安全の啓発の意味も込めまして、モニタリング調査を計画しております。町内を走行される車両というのはさまざまございますので、状況調査し情報共有するという事で町民の皆様の安心安全を守る取り組みとさせていただきます。あともう1点、この後の会議事項でも出てまいります、福与河原圃場整備の協議をしまして、区長さんを始め、地域の皆様にも大変お骨折りをいただきまして、話を進めることとなりました。町内では前河原道路に続き2カ所目の発生土利活用となります。今後のご協力どうかよろしくお願いたします。

年末でお忙しい中の会議ではございますが、有意義な時間となりますようお願い申し上げます、私からのあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

(小沢課長)

続きましてJR東海中央新幹線長野工事事務所平永所長お願いたします。

(JR東海/平永所長)

皆様こんばんは。JR東海 中央新幹線長野工事事務所の平永でございます。平素は大変お世話になっております。また、松川町の皆様には、発生土運搬で様々なご迷惑、ご心配をおかけする中、多大なご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

まず、本日の議題と少し違う話になりますが、現在、私どものトンネル工事は大鹿村、豊丘村、飯田市で行われておりますが、豊丘村のトンネル工区において11月に肌落ちという事象が発生し、それにより作業員1人が怪我をされるという事故がございました。10月の末に、岐阜県内で同様の肌落ち災害が起こり、作業員1人の方が亡くなるという重大な災害を起こしたばかりのことであり、大変重大な労働災害を起こしてしまったということで深く反省をしております。現在、その原因と対策をしっかりと究明すべく、その当該工区については工事を休止して検討しているというところでございます。この内容につきましては、皆様にご心配をおかけしてしまったということをお詫び申し上げますとともに、本日は少しお時間をいただき、このトンネル災害の概要について後ほどご説明をさせていただきたいと考えております。

繰り返しになりますが、作業員の方が労災等で怪我をされるということは、私どもの工事を進める仲間が怪我をしてしまうということでもあります。決して起こしてはならない事故でありますので、安全を第一にこれからも進めていくということをお誓い申し上げたいと思っております。

本日、私どもからは大鹿村内の工事進捗と松川町内の七椏神社付近での実施した環境測定の結果についてお話をさせていただきたいと思っております。現在、伊那インター工業団地への発生土運搬を実施しておりますが、今後徐々に台数が増えてくるということになります。いろんなご心配や問題が発生

してくると考えておりますが、決して安全を阻害することないように、改めて慎重かつ、それぞれの作業員がしっかりと理解するまで教育をした上で、この工事を進めてまいりたいと思っておりますので、改めてご支援ご理解をいただきますようお願い申し上げます。冒頭のごあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(小沢課長)

続きまして、飯田建設事務所リニア整備推進事務所調整課の折井課長お願いいたします。

(長野県/折井課長)

皆様改めましてこんばんは。私は長野県リニア整備推進事務所調整課長しております折井と申します。よろしくお願いいたします。委員の皆様におかれましては、日頃より長野県行政にご理解ご支援をいただいているところでございますけれども、特に先ほど委員長さん、町長さんからお話ありましたとおり、県で事業を進めておりましたし新宮ヶ瀬橋につきまして、工事中については通行止め等ご迷惑をおかけしたところでございますけれども、一昨日 12 月 19 日に開通の運びとなりました。用地のご協力はもとより、皆様のご協力あってのことかと考えております。大変ありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、本日の委員会内容につきましては、先ほど松川町長さんのごあいさつでもあったとおり、通常のJRさんの事業説明に加えまして、松川町さんが福与河原地籍で計画をされている圃場整備事業につきまして、リニアの発生土を活用して事業を進めるという説明があるとお聞きをしているところでございます。県といたしましても、本事業を進めるということで松川町さんと連携しながら、しっかりと調整をしていきたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いいたします。本日の委員会ではこの説明を十分にお聞きいただきまして、ご理解をいただければというふうに考えておりますのでよろしくお願いいたします。本日はどうもよろしくします。

(小沢課長)

それでは以降につきましては、対策委員会設置要綱第 5 条に会議は委員長が議長となるということから、黒澤委員長の進行でお願いをいたします。

(黒澤委員長)

それでは、お手元に配布されております次第に沿って進めてまいりたいと思います。3 番の会議事項の(1) 番でございます。発生土運搬に伴う安全対策についてということで、町側の方からお願いをいたします。

(1) について、小沢課長説明

(黒澤委員長)

ただいま、発生土運搬に伴う安全対策について、現状、それから、整備してきた経過等について説明をいただきましたが、この部分におきまして、何かご質問ご発言等ございましたらお願いをしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(松下委員)

モニタリング調査をするということですが、下垣外西部交差点の信号機のところですが、ダンプが来た場合に、坂道でかなりな渋滞を招くということも考えられるということ、前にも質問した経過がありますが、ここもモニタリング調査の中へ入れておいていただきたいと思いますと思いますが、どうでしょうか。

(黒澤委員長)

はい、小沢課長。

(小沢課長)

今の場所は下垣外信号機からクロネコヤマトに向かっていく坂道のことだと思いますので、渋滞の状況を見まして、調査できる範囲でしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(松下委員)

県道松川インター大鹿線の東浦の交差点に行く少し前の坂道ですね。ここも同じような条件ですので、調査の方に入れておいていただきたいと思います。それはどうでしょうか。

(黒澤委員長)

はい、小沢課長。

(小沢課長)

他の場所もございますので、ご意見として伺いまして、また現地の方を確認しながら場所は選定させていただきますと思います。よろしくお願いいたします。

(黒澤委員長)

ほかにご発言ご質問等ございましたら。よろしいでしょうか。それでは今の報告を聞きおくということで、また、最後に皆様にお伺いいたしますので、何か気づいた点ありましたら、ご発言いただければと思います。それでは、会議事項の(2)番の方に移らせていただきたいと思います。JR東海さんからの説明ということでございますので、JRさんの方で、よろしくお願いいたします。

(2)について、JR東海 太田垣課長説明

(黒澤委員長)

ありがとうございました。ただいまJR東海さんから、その他の運搬カレンダーも含めて5件の説明をいただいたわけでありますけれども、この件について、ご質問とご発言ございましたらお願いをいたします。

(宮嶋委員)

8ページの発生土運搬車両台数のところで、渡場交差点から七椏杉神社前にいった途端に往復という形で半分にしていくんですが、渡場交差点から上新井交差点までの台数っていうのは、変化はし

ないわけなんですか。

（JR東海／太田垣課長）

わかりにくい記載で申し訳ございませんでした。この10月の実績ですと、渡場交差点は28台となっております。実際は、往路14台と復路14台の計28台という記載になっております。七椏神社前については14台のうちの6台が松川インター大鹿線を往路として通行しており、一方で古町境の沢線については、14台のうちの8台が通行しております。往路として七椏神社前を通行するのは14台ですが、復路としては鶴部線を通行しているのが8台であり、残りの6台はそのまま上新井交差点まで来て、そこから七椏神社前を通行しております。

青いルートの往路は14台全部が七椏神社前を通行し、復路は14台のうち6台が通行するため、14台+6台=20台が七椏神社前を通行しております。

上新井交差点についても、同じく往路の14台全てが上新井交差点を通行し、復路は14台のうち6台だけが通りますので、合計して20台ということでございます。少しわかりにくい記載でございますので今後改善していければと思いますが、数字の内訳については以上でございます。

（宮嶋委員）

すいません。そちらの方は理解しているんですけど、高森町への発生土運搬車両が往復はないわけなので248台、248台となっている。

（JR東海／太田垣課長）

高森町への発生土運搬車両については、渡場交差点は10月だと248台。片道124台の往復で248台になります。往路は赤いルートであり、七椏神社前で124台が通行しています。上新井交差点についても往路で124台です。復路はピンクのルートで、124台が通行しますが、上新井交差点では往復通行のため、往復合計した248台となっております。

復路は洞新線を通行しますので、洞新線に124台が通行するという書き方になってございます。少しわかりにくい図で申し訳ございませんが、内訳はそのようなことになってございます。

（宮嶋委員）

1サイクル、高森町2時間で、回ってると思うんですけど、1日4回走っているわけですよね。8時半に通った1台目の車両が、2回目通るのが10時半頃なんですよ。40台以上、走っていると思うんですけど、そうすると、160台。全然この数字がよく理解できないんですが。

（JR東海／太田垣課長）

1日4往復で下市田へ運搬しているのではないかと、それが40台の4往復だったら160台ぐらいになるんじゃないかというご質問だと思いますが、今は詳細なデータはございませんが、4往復ができる車両と4往復できず3往復しかできない車両があり、それが混在してるような状況でございます。1番に出発する車両は4往復できますが、それが順番に1台積んで次が出ると間隔をあけて出ていくため、最後に出るダンプは4往復ができず3往復で終了するような車両もございますので、ぴったり4往復になっているわけではなくて、平均すると3.何往復というような状況でございます。

(宮嶋委員)

はい、わかりました。

(黒澤委員長)

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうかね。こちらについても最後に、お聞きいただいても結構でございますので、次に進めさせていただきます。それでは、(3)番であります、福与河原圃場整備について、町の方からということで小沢課長お願いいたします。

(小沢課長説明)

(黒澤委員長)

福与河原圃場整備について、説明をいただきましたが、この件についてご質問、ご発言等ございましたらお願いをいたします。

(松下委員)

この圃場整備をするということで、圃場整備区域内に骨材をとればとれるということもあるんですが、その検討の中に骨材をとってそれを売却して、そしてポケットを大きくして、残土量を多く入れ込んで圃場整備をすると、そういった話は出なかったでしょうか。

(黒澤委員長)

はい、小沢課長。

(小沢課長)

地元の方とお話をした中では、ここは前河原とは違って、出ないのではないかなというような形であります。ただボーリング調査もしておりませんので、今後そこら辺も踏まえて協議をしてみたいと、そういうふうに思っております。今始まったばかりですので、今現在は余り決まっておりますので、検討材料にさせていただきたいと思えます。

(松下委員)

わかりました。

(黒澤委員長)

はい、それでは北林委員どうぞ。

(北林昇委員)

地元の福与区長を務めております北林と申します。この件は今役場から小沢課長がご報告していただいたとおり、先般、町長あてに要望書を出しまして、議会の方にも説明いただいて、確認をいただいたということでお伺いしております。福与区として申し上げたいのは、最初から福与区がリニア発生土を置きたいという要望を出したわけではなく、町の方からこういう提案があるけれどもどう

か、ということをご説明いただき、それぞれ賛否両論ある中で、最終的には福与も後継者がなかなかいないという状況があるので、今後しかしながら農業を続けていきたい、持続可能な農業を続けていきたいということで、かなり時間を要して、全体的にはご理解をいただいたという状況です。

地権者の方は地元の方ばかりではなかったもので、余計難しかったわけですがけれども、この場にも、今まで報告はしませんでしたし、私も区長なんですけど区長会にも一言も言ってこなくて、心苦しいところはあったんですけど、やっぱり反対の方がいらっしゃる中で、GO をするというのを報告するのは忍びなかったし、そのことを大事にしながら進めてまいりました。

最終的には、もちろんいろいろなお考えはあるんですけど、将来のことを考えて、それでは進めるっていう方向がよかろうということで、全員の方から言っていただいたので、今日のご報告にたどり着いたかと思います。

そんな状況があることを町の皆様にもご理解をいただきまして、これから県やJRの皆さんにいろいろなお協力やご支援いただきながら進めるわけですがけれども、町と共同の施工で進めるということでございます。

我々福与区の住民も全く素人なので実際の工事が始まりますと、いろんなことに直面して試練があると思うんですけど、町の皆様のご理解をいただきながら、また、こういうことが抜けてるんじゃないかっていうご指摘もいただきながら、やってよかったなっていう結論出せるように頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

（黒澤委員長）

はい、経緯も含めてご発言いただきましてありがとうございます。ほかに皆さんご発言ございませんか。はい、どうぞ。

（北林誠委員）

安協という立場じゃなくて、地元の間人としてお願いがあります。福与地区のハザードマップ見せてもらいますと、ここじゃない方が水害に合うという結果だと思います。地元の間人としては、福与のバス停の辻まで下りてきて、そこら辺がもう水害によってつぶれてると、私たちとしてはもう完全に、身動きができないんですよ。ですから、協議していただいて、何とか辻まで盛り上げてくれないかというのが、地元の間人として思うんですけども、福与区さんにもうちょっと頑張っ、どうにかしてもらえないかというのが、心情なんですけど、なんとかありませんかね。

（黒澤委員長）

圃場整備の範囲というか、場所について、ご発言をいただいたわけですがけれども、それについては、町の方でお答えできますか。はい小沢課長。

（小沢課長）

福与のバス停というと、松川大鹿線を下りてきて、伊那生田飯田線との交差点のそこかと思いますが。工場団地で工場も稼働しておりますので。ただ、宮沢川から間沢川までは平成21年から30年の間に、天竜川の方で堤防整備をすると決まっております。ですので、その堤防整備をすれば、堤防も決壊しませんし、越水もしないということになりますので、少し守られるのかなと思っております。今回は宮沢川より上流で、このような形でまとまりましたので、福与バス停の付近までの範囲でやる

ということは考えてはおりません。今現在この地図の中で事業を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（黒澤委員長）

それではほかにご発言ございますか。よろしいでしょうか。無いようでしたら、(3)番の圃場整備については終了したいと思います。それでは、会議事項については1、2、3番まで、済みましたが、全体を通してご質問なりご発言あれば。また対策会議で、現状報告など、お気づきな点等ありましたら、ご発言いただければと思いますけれども、いかがでしょうか。はい、どうぞ。

（北林誠委員）

上伊那の方でまだ土を盛る計画はありますか。何年ぐらいまで続きそうですか。

（黒澤委員長）

JRさんの方で予定がわかってる範囲で。

（JR 東海／平永所長）

現在、中川村より北の方でいくつかの発生土活用先の候補地をいただいております。松川町の皆様には、伊那インター工業団地と駒ヶ根市上赤須という市の事業で埋め立てていただくところに、私どもの発生土を活用していただくということで、その2か所については、ほぼ確定した候補地として説明をしてきているところでございます。

ご質問あったように、この先も候補地がいくつかある中で進めてまいりますので、実際に発生土の活用先が確定もしくは確定しそうだという段階において、松川町内の道路を通行する場合にはご説明させていただくという約束で、これまで協議をさせていただいております。活用先が確定するというようなことになりましたら、改めてご説明をさせていただきたいと思っております。

（北林誠委員）

上伊那に土を運ぶ運搬路はわかりましたが、駒ヶ根とか続くようでしたら、どのように考えてるかお知らせ願いたいと思います。

（JR 東海／平永所長）

現在、伊那インター工業団地までの運搬は遠方であるため、松川インターから高速道路を使って運搬をさせていただいております。例えば、駒ヶ根市であれば高速道路を使うルートもありますが、国道153号をそのまま北上していくと、そう時間は変わらずに運搬できるため、活用先の場所によつての運搬経路というのは考えていくつもりでございます。

また、この国道153号に入るにあたっては、天竜川を越えて松川町に入つてこなければならぬので、天竜川を渡らずに渡場交差点を北上していくルートについても、現在、長野県や中川村とご協力をさせていただきながら、道路の整備を実施している場所もございます。この整備ができ次第、この渡場交差点を北上し、天竜川左岸を運搬するルートも検討してまいりたいと考えています。

(北林誠委員)

鶴部信号のところでは今朝、ダンプがかなり大回りになっていた。赤信号で止まっていて、目の前に軽トラが1台止まっていたが、やはりダンプの運転手さんも大変だということは見受けられました。朝だったので1台しか見てないですが、帰ってくるダンプがこれから増えていくとすると、やっぱり運転手さん大変だということはいくらもわかりますし、子ども達もよけて歩いていたので、どちらも責められないと思います。道が狭いし、鶴部の信号自体が急カーブですので。ただ、これからそれが何年も続くようでしたら、考えていかないといけないかなと思いますし、ダンプ自体が大排気量でかなりの排ガスを出すと思います。鶴部のところを上ってくるのが大変なのかなという気もします。提案ですが、渡場の橋を渡って天竜川右岸、何も道がないところですが、そこを国道へ繋げるのもよいかなという感じがします。2~3年で上伊那の工事が終わるようでしたら造るだけ無駄ですが、10年、もし上伊那で需要があるようでしたら、SDGsと叫ばれとる中、排気ガスの事もありますが、今朝見た光景が少なくなるのかなという気もします。提案ですが、中川村のラーメンまた旅の横に、ソーラーパネルがたくさん置いてあるんですが、そこら辺に道を繋げても、平坦なまま、渡場の橋まで行けて、そのまま中川村、大鹿村へ抜けれる気もします。長く工事が続き国道を使うようでしたら、そのように平坦にしてもいいかなという気もしますので、よろしくお願いします。

(JR 東海/平永所長)

ご提案いただきました。今までそのようなご提案は初めて伺いましたが、このあたりでしょうか。

(北林誠委員)

そうですね、あまり遠くへ行くと川が幾つもあり、橋を補強しないといけないと思いますが、その坂が始まる直前の辺りにソーラーパネルの発電所があり、その辺から横に入っていけるようになると思います。現在は田んぼです。他所の町のことですので、あまり言うてはいけませんが、その辺りなら、広げやすいという気がしましたので。

(JR 東海/平永所長)

はい、ありがとうございます。まさに鶴部交差点から鶴部線を利用させていただくにあたっては、かなり気を使って運転しているところでございます。この鶴部線の通行に関しては、上りでは私どものダンプは運行しないようにしております。国道153号から南下し、鶴部交差点を左折して下るというルートで、現在のところ通行させていただいています。その上りということ、少しまた違うダンプなのかなと思っております。

(北林誠委員)

駒ヶ根市の方から松川町へ向かってくる時の国道の上り坂です。

(JR 東海/平永所長)

そこは、国道を上らせていただいているというところですよ。鶴部交差点から下るというところで運用させていただいております。ご心配のとおり、この道路は町と事前にご協議をさせていただき、できる範囲の安全対策をし、なおかつ運転手には十分注意をするように指導徹底して運行させていただいております。何か今後もお気づきの点があれば、教えていただければと思っています。

こちらに道路新設を、というお話でございましたが、私も少し不勉強でどういう地形なのか、まだわからないため何も答えられないですが、先ほど申し上げた渡場交差点から北上する道路があります。竜東線と一般的に言われていると思いますが、ここから北側に少し狭い県道があり、そこを改良すれば、天竜川を渡る天の中川橋に出るルートになるため、そのルートを構築するべく、現在、長野県と中川村と協議をさせていただいております。そのルートも使えば、この国道153号で松川町に入ってくる台数を大きく低減することができますので、そのようなことも考えつつ、できる限りの環境に対する負荷の低減をこれからも図ってまいりたいと思っております。本日ご提案された道路の新設については、すぐに回答できませんが、またいろいろなことを検討させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（黒澤委員長）

はい、ご発言ありがとうございました。はい、ほかに関連事項で結構でございますけれども、ございましたらお願いをいたします。ございませんか。それでは、この会議事項については終了ということにさせていただきます。それでは進行を町の方にお返しをしたいと思います。ご協力ありがとうございました。

（小沢課長）

それでは4番その他ということでございます。

皆様方にご報告申し上げますが、今回の委員会をもちまして公募委員の松下正博さんと、田中真喜子さんが任期満了でございます。2年間本当にありがとうございました。

現在対策委員を公募しております。応募期間は明日まででございます。どうぞ公募される方はよろしく願いをいたします。その他ご意見、ご要望あれば、お伺いいたしますがありますか。よろしいですか。それでは5番の閉会に移ります。唐澤副委員長お願いいたします。

（唐澤副委員長）

大変お疲れ様でした。

以上をもちまして松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会を終了したいと思います。

以上